

調査結果の概要

営農類型別経営統計

1 「集落営農」と「組織法人」の水田作経営の概要

(1) 集落営農

平成19年の集落営農（全国）の1組織当たり（以下、各費目等で同じ。）農業粗収益は1,479万円、農業経営費は929万円で、農業所得は550万円となった。

農業所得を、水田作作付延べ面積規模階層別にみると、10ha未満は123万円、20～30haは1,016万円、50ha以上は3,038万円と作付規模が大きくなるに従い増加している。

作物別の作付面積は、ほとんどの規模階層で転作作物である麦類作付面積と豆類作付面積の合計が稲作作付面積を上回っている。（表1参照）

(2) 組織法人

平成19年の組織法人（全国）の1組織当たり農業粗収益は4,134万円、農業経営費は2,810万円で、農業所得は1,325万円となった。

農業所得を、水田作作付延べ面積規模階層別にみると、10ha未満は481万円、20～30haは1,039万円、50ha以上は3,155万円と作付規模が大きくなるに従い増加している。

作物別の作付面積は、規模階層が大きくなるに従い稲作作付面積の割合が低下しており、麦類、豆類を組み合わせることにより規模を拡大し、土地や労働力等の有効活用を図っている。

組織法人は集落営農に比べ作付規模が大きいことに加え、麦類や大豆より収益性の高い水稻を多く作付けしている（集落営農で水稻の作付が少ないのは、生産調整の実施を目的とする組織が含まれていることも影響している。）ことや、農作業受託収入が多いことから、農業粗収益が高くなっている。（表2、図1・図2・図3参照）

表1 水田作作付延べ面積規模階層別にみた集落営農（水田作経営）の動向（全国・1組織当たり）

区 分	単位	平 均	10ha未満	10～20	20ha以上			
					平均	20～30	30～50	50ha以上
集 計 組 織 数	組織	111	27	32	52	14	26	12
農 業 所 得	千円	5 502	1 225	5 960	13 753	10 162	13 823	30 377
農 業 粗 収 益	〃	14 793	4 892	15 911	33 825	25 523	35 250	64 739
う ち 稲 作 収 入	〃	6 665	1 724	7 826	15 578	11 403	17 389	24 662
1) 麦 類 収 入	〃	613	227	684	1 328	729	938	6 480
1) 大 豆 収 入	〃	934	415	637	2 277	1 803	2 597	2 626
農 作 業 受 託 収 入	〃	929	597	1 113	1 425	1 736	1 211	1 208
1) 制 度 受 取 金 等	〃	5 059	1 510	5 100	12 222	8 973	11 965	29 142
農 業 経 営 費	〃	9 291	3 667	9 951	20 072	15 361	21 427	34 362
構 成 世 帯 数	戸	24	24	24	27	27	27	28
経 営 耕 地 面 積	a	1 548	684	1 557	3 299	2 311	3 486	6 876
水 田 作 作 付 延 べ 面 積	〃	1 562	603	1 518	3 552	2 524	3 793	7 006
稲 作 作 付 面 積	〃	668	187	772	1 546	1 062	1 776	2 480
麦 類 作 付 面 積	〃	437	172	457	957	725	749	3 291
豆 類 作 付 面 積	〃	443	243	273	1 014	729	1 212	1 193
う ち 大 豆 作 付 面 積	〃	431	225	266	1 011	729	1 206	1 193
経 営 耕 地 面 積 10a 当 た り 農 業 所 得	千円	36	18	38	42	44	40	44
構 成 員 農 業 投 下 労 働 時 間	時間	2 328	1 204	2 719	4 234	3 197	4 731	6 215

注： 1)は、水田・畑作経営所得安定対策の導入により、これまで麦類、大豆、てんさい、原料用ばれいしょの作物収入に含まれていた交付金の一部が、過去の生産実績に対する交付金として経営体へ一括交付されることとなったため、当該交付金は制度受取金等に計上した。（次頁の表2についても同じ）

表2 水田作付延べ面積規模階層別にみた組織法人（水田作経営）の動向（全国・1組織当たり）

区 分	単位	平 均	10ha未満	10～20	20ha以上			
					平均	20～30	30～50	50ha以上
集 計 組 織 数	組織	72	4	12	56	12	27	17
農 業 所 得	千円	13 245	4 812	7 723	19 500	10 387	18 488	31 554
農 業 粗 収 益	〃	41 341	16 190	22 618	61 235	29 886	53 479	108 663
うち 稲 作 収 入	〃	20 713	7 888	13 306	29 697	18 394	29 160	43 653
1) 麦 類 収 入	〃	1 230	157	35	2 293	872	994	5 762
1) 大 豆 収 入	〃	1 338	-	397	2 365	323	1 622	5 786
農 作 業 受 託 収 入	〃	7 168	3 851	4 061	10 138	4 255	6 139	22 584
1) 制 度 受 取 金 等	〃	8 677	2 629	3 721	13 703	4 576	11 028	28 099
農 業 経 営 費	〃	28 096	11 378	14 895	41 735	19 499	34 991	77 109
事 業 従 事 構 成 員 数	人	11.7	13.8	8.5	12.8	7.4	14.8	16.3
経 営 耕 地 面 積	a	3 068	1 539	1 752	4 373	2 451	3 985	7 156
水 田 作 付 延 べ 面 積	〃	3 121	793	1 419	4 946	2 480	3 786	9 441
稲 作 作 付 面 積	〃	1 919	781	1 192	2 753	1 676	2 532	4 319
麦 類 作 付 面 積	〃	646	78	22	1 203	460	502	3 048
豆 類 作 付 面 積	〃	496	44	170	848	106	681	1 949
うち 大 豆 作 付 面 積	〃	493	38	170	843	106	670	1 946
経 営 耕 地 面 積 10a 当 たり 農 業 所 得	千円	43	31	44	45	42	46	44
構 成 員 農 業 投 下 労 働 時 間	時間	4 383	3 117	3 377	5 418	3 788	5 448	7 275

注： 組織法人経営における「農業所得」は、個別経営と基準を合わせるために以下の処理を行った上で、「農業粗収益」から「農業経営費」を差し引いて算出した。

- 1 事業外収入に含まれる農業に係る制度受取金等を農業収入に加えて「農業粗収益」とした。
- 2 農業支出に含まれる構成員帰属分（構成員に支払われた労務費、地代、負債利子）を除外して「農業経営費」とした。

図1 稲作、麦類、豆類の作付面積割合（全国・1組織当たり）
（%）（稲作+麦類+豆類=100）

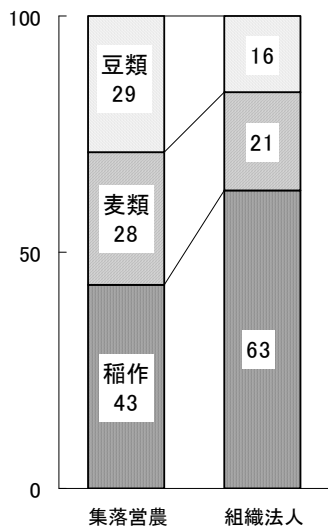


図2 稲作、麦類、大豆、農作業受託の収入（全国・1組織当たり）

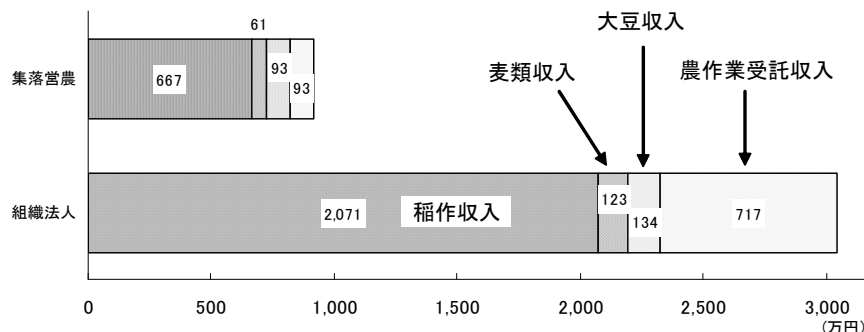
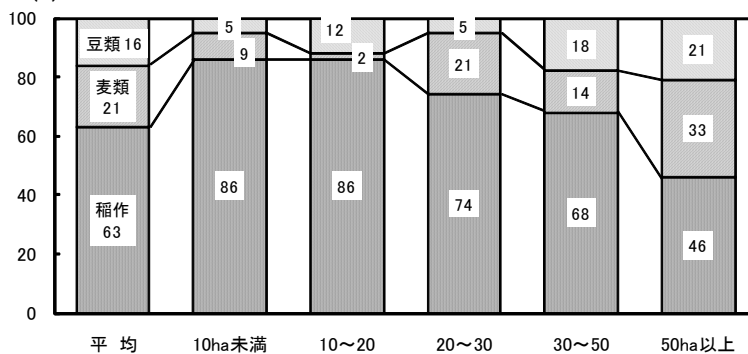


図3 水田作付延べ面積規模別にみた組織法人の稲作、麦類、豆類の作付割合（稲作+麦類+豆類=100）



2 組織法人（水田作経営以外の耕種経営）の概要

平成19年の水田作経営以外の耕種経営の組織法人1組織当たり農業粗収益は畑作が4,171万円、露地野菜作が4,125万円、施設野菜作が5,713万円、果樹作が2,253万円、施設花き作が9,182万円となった。

農業経営費は畑作が3,237万円、露地野菜作が3,580万円、施設野菜作が5,447万円、果樹作が1,956万円、施設花き作が7,902万円となった。

農業所得は畑作が934万円、露地野菜作が546万円、施設野菜作が266万円、果樹作が298万円、施設花き作が1,280万円となった。（表3参照）

3 組織法人（畜産経営）の概要

平成19年の畜産経営の組織法人1組織当たり農業粗収益は酪農が1億5,090万円、繁殖牛が1億660万円、肥育牛が3億5,510万円、養豚が5億3,966万円、採卵養鶏が3億8,161万円、ブロイラー養鶏が2億8,243万円となった。

農業経営費は酪農が1億3,442万円、繁殖牛が9,195万円、肥育牛が3億5,360万円、養豚が5億3,491万円、採卵養鶏が3億7,824万円、ブロイラー養鶏が2億6,408万円となった。

農業所得は酪農が1,647万円、繁殖牛が1,465万円、肥育牛が150万円、養豚が474万円、採卵養鶏が337万円、ブロイラー養鶏が1,835万円となった。

（表4参照）

表3 組織法人（畑作、露地野菜作、施設野菜作、果樹作、施設花き作）の動向
（全国・1組織当たり）

区 分	単位	畑作	露地野菜作	施設野菜作	果樹作	施設花き作
集 計 組 織 数	組織	9	10	28	19	28
農 業 所 得	千円	9 342	5 455	2 661	2 977	12 797
農 業 粗 収 益	〃	41 710	41 251	57 126	22 532	91 815
農 業 経 営 費	〃	32 368	35 796	54 465	19 555	79 018
事 業 従 事 構 成 員 数	人	3.8	6.8	3.2	5.7	3.7
経 営 耕 地 面 積	a	4 678	2 742	449	780	127
作 付 延 べ 面 積	〃	3 767	2 065	384	662	97
構 成 員 農 業 投 下 労 働 時 間	時間	6 163	5 609	4 940	4 150	7 505

注：作付延べ面積は、畑作は稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物のうち、畑で作付けした作付延べ面積、野菜作は野菜作付延べ面積、果樹作は果樹植栽面積、花き作は花き作付延べ面積である。

表4 組織法人（畜産）の動向（全国・1組織当たり）

区 分	単位	酪農	繁殖牛	肥育牛	養豚	採卵養鶏	ブロイラー
集 計 組 織 数	組織	18	4	21	9	14	5
農 業 所 得	千円	16 473	14 653	1 500	4 744	3 369	18 351
農 業 粗 収 益	〃	150 897	106 602	355 101	539 658	381 608	282 433
農 業 経 営 費	〃	134 424	91 949	353 601	534 914	378 239	264 082
事 業 従 事 構 成 員 数	人	3.8	3.1	3.0	2.8	3.5	2.7
飼 養 頭 羽 数	〃	148	148	933	8 182	107 818	669 043
構 成 員 農 業 投 下 労 働 時 間	〃	8 405	7 609	4 806	2 710	5 404	5 769

注：飼養頭羽数は、酪農は搾乳牛、繁殖牛は繁殖めす牛、肥育牛は肥育牛、養豚は肥育豚、採卵養鶏は採卵鶏の月平均飼養頭羽数である。また、ブロイラー養鶏はブロイラー販売羽数である。